

厚生労働大臣

殿

北海道公立大学法人札幌医科大学  
理事長 島本和明

札幌医科大学附属病院の業務に関する報告について  
標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 22 年度の業務  
に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	48.3人
--------	-------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照(様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照(様式第 13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	227人	207人	407.7人	看護補助者	8人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	9人	9人	15.5人	理学療法士	14人	臨床検査技師	56人
薬 剤 師	30人	1人	31.0人	作業療法士	4人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視能訓練士	5人	その他	0人
助 産 師	30人	0人	30.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	656人	62人	700.8人	臨床工学技士	9人	医療社会事業従事者	0人
准 看 護 師	4人	5人	7.2人	栄 養 士	0人	その他の技術員	7人
歯 科 衛 生 士	4人	0人	4.0人	歯 科 技 工 士	3人	事 務 職 員	83人
管理栄養士	5人	0人	5.0人	診療放射線技師	45人	そ の 他 の 職 員	52人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	677.7人	31.1人	708.8人
1日当たり平均外来患者数	1606.9人	114.1人	1721.0人
1日当たり平均調剤数			1247.0剤

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。



(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	81人	・膿疱性乾癬	8人
・多発性硬化症	90人	・広範脊柱管狭窄症	2人
・重症筋無力症	131人	・原発性胆汁性肝硬変	41人
・全身性エリテマトーデス	199人	・重症急性膵炎	8人
・スモン	0人	・特発性大腿骨頭壊死症	89人
・再生不良性貧血	39人	・混合性結合組織病	28人
・サルコイドーシス	77人	・原発性免疫不全症候群	3人
・筋萎縮性側索硬化症	39人	・特発性間質性肺炎	18人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	170人	・網膜色素変性症	31人
・特発性血小板減少性紫斑病	76人	・プリオン病	1人
・結節性動脈周囲炎	34人	・肺動脈性肺高血圧症	4人
・潰瘍性大腸炎	109人	・神経線維腫症	22人
・大動脈炎症候群	26人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・ピュルガー病	14人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	2人
・天疱瘡	19人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	2人
・脊髄小脳変性症	35人	・ラインゾーム病	1人
・クローン病	44人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	12人	・脊髄性筋萎縮症	1人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	127人	・球脊髄性筋萎縮症	0人
・アミロイドーシス	16人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	1人
・後縦靭帯骨化症	82人	・肥大型心筋症	2人
・ハンチントン病	0人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	63人	・ミトコンドリア病	0人
・ウェゲナー肉芽腫症	11人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	0人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	57人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びビジャイドレーガー症候群)	19人	・黄色靭帯骨化症	0人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	2人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH 分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	2人

(注)「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。



(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
炎症を基盤とした未分化型胃癌のエピジェネティクス解析と発癌リスク予測	篠村 恭久	内科学第一講座	4,100,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
腸管炎症と発癌に対する幹細胞治療の開発	有村 佳昭	内科学第一講座	1,300,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
三重特異性抗体を用いた進行肝細胞癌に対する治療法の確立	佐々木 茂	内科学第一講座	2,200,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
プロテオミクスを用いたIgG4関連疾患の疾患特異的自己抗原の同定と診断法の確立	山本 元久	内科学第一講座	1,600,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
消化器癌細胞および癌幹細胞の網羅的エピゲノム解析	鈴木 拓	内科学第一講座	1,700,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
生体マーカーを標的とした進行肝癌の治療	佐々木 茂	内科学第一講座	1,200,000	①補委 東京大学
強皮症における病因解明と根治的治療法の開発(H20-難治-一般-029)	高橋 裕樹	内科学第一講座	500,000	①補委 長崎大学
蛋白脱アセチル化酵素SIRT1の活性制御機構解明と心不全への治療	丹野 雅也	内科学第二講座	1,000,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
心筋細胞保護シグナルにおけるコネキシン43の役割	三浦 哲嗣	内科学第二講座	800,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
保健指導への活用を前提としたメタボリックシンドロームの診断・管理のエビデンス創出のための横断・縦断研究	島本 和明	内科学第二講座	2,400,000	①補委 東京大学
多施設コホートを基盤とした糖尿病・メタボリックシンドロームの発症要因と脳卒中・心筋梗塞の発症に果たす役割に関する前向き研究	斎藤 重幸	内科学第二講座	3,000,000	①補委 国立循環器病センター
大規模コホート共同研究による生活習慣病発症予防データベース構築とその高度利用に関する研究(H20-循環器等(生習)-一般-013)	斎藤 重幸	内科学第二講座	2,200,000	①補委 滋賀医科大学
食生活・栄養素摂取状況が高齢者の健康寿命に与える影響に関する研究:NIPPON DATE80・90の追跡調査	斎藤 重幸	内科学第二講座	250,000	①補委 滋賀医科大学
今後の特定健康診査・保険指導における慢性腎臓病(CKD)の位置付けに関する検討	吉田 英昭	内科学第二講座	1,050,000	①補委 福島県立医科大学
地域疫学研究からみた高血圧管理におけるガイドラインの遵守と目標達成度に関する研究	島本 和明	内科学第二講座	1,300,000	①補委 国立循環器病センター
肺コレクテンを用いた薬剤性肺障害の制御	高橋 弘毅	内科学第三講座	800,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
肺筋線維芽細胞にHSP47 siRNA特異的導入による肺線維症治療薬の開発	大塚 満雄	内科学第三講座	2,300,000	①補委 独立行政法人日本学術振興会
びまん性肺疾患に関する調査研究	高橋 弘毅	内科学第三講座	800,000	①補委 自治医科大学
びまん性肺疾患に関する調査研究	高橋 弘毅	内科学第三講座	300,000	①補委 自治医科大学
ユビキタス・インターネットを活用したアレルギー疾患の自己管理および生活環境改善支援システム、患者登録・長期観察システムに関する研究	田中 裕士	内科学第三講座	600,000	①補委 東京芸術大学

癌随伴線維芽細胞を標的としたがん治療法の開発	瀧本 理修	内科学第四講座	5,000,000	補委	文部科学省
特異的線維化療法によるスキルス胃癌の新規治療法の開発	瀧本 理修	内科学第四講座	3,900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
膵がん細胞を標的とした新しい抗がん療法の開発	加藤 淳二	内科学第四講座	6,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
C型肝炎における鉄代謝調節因子GDF15-ヘプシジン制御機構の解明とその治療応用	宮西 浩嗣	内科学第四講座	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
大腸癌特異的に抗がん剤を送達する新規システムの開発	佐藤 康史	内科学第四講座	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
腫瘍細胞と間質細胞をデュアルターゲットとした新規腫瘍幹細胞根絶法の開発	小船 雅義	内科学第四講座	1,800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
VA-Lip-siRNAを使用した肝癌予防法の開発	村瀬 和幸	内科学第四講座	2,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
非アルコール性脂肪性肝炎発症における鉄代謝関連因子の分子機構解明と治療法への応用	河野 豊	内科学第四講座	2,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
GST- $\pi$ を標的とした膵管癌の化学予防	林 毅	内科学第四講座	1,800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肝炎・肝硬変に対する抗ウイルス剤以外の治療法に関する研究	加藤 淳二	内科学第四講座	500,000	補委	久留米大学
過疎の進む地域の医療従事者に対するストロークチームによる卒後・職能教育	齊藤 正樹	神経内科学講座	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ヒストン脱アセチル化酵素SIRTの神経変性疾患の病態生理における機能解析	久原 真	神経内科学講座	2,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肝に局在する新規分子マーカーを用いた高質な肝予備能評価を目指した基盤的研究	平田 公一	外科学第一講座	2,800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
超冷却保存された小型肝細胞によるヒト肝細胞化ハイブリットマウスの開発	水口 徹	外科学第一講座	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
間質細胞を介した新しい大腸癌治療法の開発	古畑 智久	外科学第一講座	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ヒト胃癌細胞の転移形式別にみた特異的転移関連因子の解析	木村 康利	外科学第一講座	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
免疫逃避克服による新規癌ペプチドワクチン療法の確立	平田 公一	外科学第一講座	2,400,000	補委	文部科学省
新規の過冷却臓器保存法の開発と豚肝移植への応用について	目黒 誠	外科学第一講座	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
Hsp90によるシャペロン分子の時空間制御と免疫応答	奥谷 浩一	外科学第一講座	1,700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
膵頭十二指腸切除術後における消化管機能の多面的解析	秋月 恵美	外科学第一講座	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
国内版・国際版急性胆道炎診療ガイドラインの普及と、日本と世界の現地診療・健康アウトカム等と与える影響の検証に関する研究(H20-医療一般-028)	平田 公一	外科学第一講座	700,000	補委	国際医療福祉大学
患者・家族・国民に役立つ情報提供のためのがん情報データベース医療機関データベースの構築に関する研究(19143101)	平田 公一	外科学第一講座	8,200,000	補委	国立がんセンター

がん診療ガイドラインの作成(新規・更新)と公開の維持およびその在り方に関する研究(H21-がん臨床一般-023)	平田 公一	外科学第一講座	25,000,000	補委	厚生労働省
脊髄障害防止の観点からみた胸部下行・胸腹部大動脈瘤外科治療ないしはステントグラフト治療体系の確立(H20-循環器等(生習)一般-017)	樋上 哲哉	外科学第二講座	300,000	補委	国立循環器センター
脊髄障害防止の観点からみた胸部下行・胸腹部大動脈瘤外科治療ないしはステントグラフト治療体系の確立(H20-循環器等(生習)一般-017)	川原田 修義	外科学第二講座	200,000	補委	国立循環器センター
運動器の慢性難治性疼痛の機序解明と治療法の確立	山下 敏彦	整形外科科学講座	1,900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
骨軟部肉腫の新規腫瘍抗原を標的としたペプチドワクチン療法の開発	和田 卓郎	整形外科科学講座	3,900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
軟部肉腫に対する抗血管新生療法確立のための基礎的研究	加谷 光規	整形外科科学講座	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ヒト断端神経腫のプロテオミクス解析による神経因性疼痛の発症因子の解明	和田 卓郎	整形外科科学講座	900,000	補委	文部科学省
医療機関受診者を対象として高齢者骨折の実態調査に関する研究(H21-長寿一般-004)	山下 敏彦	整形外科科学講座	1,500,000	補委	新潟大学
腰痛の診断、治療に関する研究「腰部脊柱狭窄症の診断・治療法の開発」(H21-長寿一般-007)	山下 敏彦	整形外科科学講座	1,300,000	補委	千葉大学
高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究(H20-がん臨床一般-018)	和田 卓郎	整形外科科学講座	550,000	補委	九州大学
シャルコー・マリー・トゥース病の診断・治療・ケアに関する研究	山下 敏彦	整形外科科学講座	1,000,000	補委	京都府立医科大学
脊髄障害性疼痛症候群の実態の把握と病態の解明に関する研究	山下 敏彦	整形外科科学講座	1,000,000	補委	愛知医科大学
脊髄損傷に対する間葉系幹細胞移植におけるジアシルグリセロールの神経再生への関与	村上 友宏	脳神経外科学講座	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
脊髄空洞症発症に関わる髄内微小循環の解明と新たな治療法の開発	小柳 泉	脳神経外科学講座	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
遺伝子組換え骨髄幹細胞の静脈内移植による骨髄損傷治療の基礎的研究	野中 雅	脳神経外科学講座	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
骨髄幹細胞治療の特性を利用した脳動脈瘤に対する血管内治療	飯星 智史	脳神経外科学講座	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
神経幹細胞と癌幹細胞の比較解析	秋山 幸功	脳神経外科学講座	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
未破裂脳動脈瘤の治療の評価技術の開発に関する研究(H21-臨床研究一般-008)	寶金 清博	脳神経外科学講座	1,000,000	補委	滋賀医科大学
悪性神経膠腫に対するTemozolomideの治療効果を増強した標準治療確立に関する研究(H20-がん臨床一般-019)	南田 善弘	脳神経外科学講座	500,000	補委	国立がんセンター
ウイリス動脈輪閉塞の診断・治療に関する研究	寶金 清博	脳神経外科学講座	1,000,000	補委	国立循環器病センター
非もやもや病小児閉塞性脳血管障害の実態把握と治療指針に関する研究(H21-難治一般-120)	寶金 清博	脳神経外科学講座	1,000,000	補委	京都大学
ウイリス動脈輪閉塞症における生体試料の収集に関する研究(H21-難治一般-091)	寶金 清博	脳神経外科学講座	200,000	補委	京都大学

未破裂脳動脈瘤の治療指針と個別意思決定に関する研究	寶金 清博	脳神経外科学講座	2,000,000	補委	京都大学
PCOSモデルとして、男性ホルモン投与性同一性障害障害症例を用いた研究	遠藤 俊明	産婦人科学講座	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
婦人科腫瘍でのギャップ結合を介するバイスタンダー効果の遺伝子治療への応用	斉藤 豪	産婦人科学講座	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
子宮内胎児発育遅延における胎盤のアディポネクチン受容体を中心とした解析と治療戦略	林 卓宏	産婦人科学講座	600,000	補	文部科学省
遺伝子多型は多嚢胞性卵巣症候群の疾患感受性、薬剤応答性を規定する	馬場 剛	産婦人科学講座	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
病院間及び病院内の連携体制の構築に関する研究(H21-医療-指定-004)	齊藤 豪	産婦人科学講座	1,000,000	補委	北海道大学
2本鎖RNAの抗RSウイルス作用を媒介するメディアエーターの解明	永井 和重	小児科学講座	2,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ガンシクロビル耐性ヒトサイトメガロウイルスのUL97遺伝子変異に関する研究	堤 裕幸	小児科学講座	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ヒトパルボウイルスB19のゲノム変異が感染様式または病態に与える影響	要藤 裕孝	小児科学講座	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
急性移植片対宿主病における分子マーカーの定量系の確立及びその機能解析	山本 雅樹	小児科学講座	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ワクチン戦略による麻疹および先天性風疹症候群の排除、およびワクチンで予防可能疾患の疫学並びにワクチンの有用性に関する基礎的臨床的研究	堤 裕幸	小児科学講座	2,000,000	補委	国立感染症研究所
急性呼吸器感染症の感染メカニズムと疫学、感染予防・制御に関する研究(H21-国医-指定-009)	堤 裕幸	小児科学講座	900,000	補委	岡山大学
小児期のリウマチ・膠原病の難治性病態の診断と治療に関する研究	永井 和重	小児科学講座	500,000	補委	横浜市立大学
各種遺伝性網膜変性モデル動物における光ストレスの影響	石川 太	眼科学講座	1,700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
悪性黒色腫個別化治療を目指した薬剤感受性と遺伝子異常の関連解析	肥田 時征	皮膚科学講座	600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
メソジエネシ標的NPrCAP・ナノ微粒子による次世代型メラノーマ化学温熱免疫(CTI)治療法の開発(21080101)(H21-ナノ一般-006)	山下 利春	皮膚科学講座	3,500,000	補委	厚生労働省
メソジエネシ標的NPrCAP・ナノ微粒子による次世代型メラノーマ化学温熱免疫(CTI)治療法の開発(21080101)(H21-ナノ一般-006)	小野 一郎	皮膚科学講座	3,000,000	補委	厚生労働省
メソジエネシ標的NPrCAP・ナノ微粒子による次世代型メラノーマ化学温熱免疫(CTI)治療法の開発(21080101)(H21-ナノ一般-006)	米田 明弘	皮膚科学講座	2,500,000	補委	厚生労働省
勃起(海綿体)神経の再生医療-神経栄養因子による遺伝子治療と神経再生の機序の研究	久末 伸一	泌尿器科学講座	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
下部尿路症状と勃起障害の関連についての検討	田中 俊明	泌尿器科学講座	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
早期前立腺がんにおける根治術後の再発に対する標準的治療法の確立に関する研究(H20-がん臨床一般-016)	塚本 泰司	泌尿器科学講座	300,000	補委	九州大学
希少悪性腫瘍に対する標準的治療確立のための多施設共同試験	塚本 泰司	泌尿器科学講座	1,100,000	補委	国立がんセンター



鼻咽腔上皮細胞と樹状細胞のクロストークによる炎症調節機構の解析	水見 徹夫	耳鼻咽喉科学講座	2,800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
アレルギー性鼻炎における樹状細胞活性化因子TSLPの役割	亀倉 隆太	耳鼻咽喉科学講座	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
喉頭癌におけるタイト結合タンパクClaudinの浸潤関連因子としての役割	近藤 敦	耳鼻咽喉科学講座	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
小児アレルギー性鼻炎の発症および重症化の寄与因子の検討～早期介入への戦略	金泉 悦子	耳鼻咽喉科学講座	500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ヒト鼻粘膜上皮M細胞の機能解析および分化誘導：鼻粘膜DDSを介する新しい治療戦略	郷 充	耳鼻咽喉科学講座	2,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新種細菌アロイオコッカスに関する臨床研究、免疫学的研究および抗原構造解析	播摩谷 敦	耳鼻咽喉科学講座	1,900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
上中咽頭癌のEMTにおけるEBVとHPVによるタイト結合の変化	高野 賢一	耳鼻咽喉科学講座	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
神経回路発達障害は小児期の認知・行動異常を説明するかー精神機能と神経幹細胞移植ー	齋藤 利和	神経精神医学講座	5,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
神経新生とうつ病治療：末梢血因子と内在性神経幹細胞活性化による新治療ストラテジー	橋本 恵理	神経精神医学講座	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
統合失調症の新たな治療法開発ー薬物・細胞combined療法は有効かー	鶴飼 渉	神経精神医学講座	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
生体内軟骨再生技術の開発	白石 将毅	神経精神医学講座	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
統合失調症に対する自己細胞移植療法の可能性ー有効性に関する事前体外診断法の確立ー	小野 貴文	神経精神医学講座	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
うつ病の病態と血小板放出因子との接点	渡邊 公彦	神経精神医学講座	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
レビー小体型認知症の病態解明と新規治療薬としての抑肝散の有効性とその作用機序	舘農 勝	神経精神医学講座	1,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
末梢静脈から移植された神経幹細胞の運命：精神疾患への臨床応用を目指して	吉永 敏弘	神経精神医学講座	1,700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
アルコール依存症の病態と治療法の開発に関する研究	橋本 恵理	神経精神医学講座	400,000	補委	厚生労働省
アルコール依存症の病態と治療法の開発に関する研究	齋藤 利和	神経精神医学講座	5,450,000	補委	厚生労働省
放射線感受性におけるヒストン修飾とゲノム損傷応答のリンケージ解析	晴山 雅人	放射線医学講座	4,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
放射線増感剤ギメラシルの臨床応用に向けた研究	坂田 耕一	放射線医学講座	1,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
早期に臨床応用可能な放射線増感剤の研究	晴山 雅人	放射線医学講座	1,700,000	補委	文部科学省
ギメラシルによる放射線増感効果の分子メカニズムの解析	染谷 正則	放射線医学講座	1,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
早期の癌に対する標準的放射線治療方法確立と適応決定に関する研究	晴山 雅人	放射線医学講座	520,000	補委	東北大学

放射線治療期間の短縮による治療法の有効性と安全性に関する研究(H21-がん臨床-一般-018)	晴山 雅人	放射線医学講座	800,000	補委	国立がんセンター
脊髄障害防止の観点からみた胸部下行・胸腹部大動脈瘤外科治療ないしはステンドグラフト治療体系の確立(H20-循環器等(生習)-一般-017)	兵頭 秀樹	放射線医学講座	300,000	補委	国立循環器センター
新しい吸入麻酔薬デスフルランの気道過敏性亢進作用の機序解明	山蔭 道明	麻酔学講座	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
カンナビノイドによる脊髄鎮痛の機序解明	木谷 友洋	麻酔学講座	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
骨がん性疼痛に対する遺伝子治療の開発	新山 幸俊	麻酔学講座	500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
手術後痛における個人差の機序の解明とテラーメイド鎮痛の確立	杉野 繁一	麻酔学講座	500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
積雪・寒冷地域における訪問看護サービスの経済的評価に関する実証的研究	高橋 由美	地域医療総合医学講座	600,000	補委	文部科学省
抗IAP抗体スクリーニングアレイを用いた癌診断法の実用化	渡辺 直樹	臨床検査医学講座	7,900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
咬合・咀嚼障害が血清抗菌化能に与える影響についての研究	田中 真樹	臨床検査医学講座	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
胚性幹細胞複製分子を用いた新たな肺癌診断マーカーの開発	小林 大介	臨床検査医学講座	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
がんのAKT経路解析によるEGFR分子標的薬の効果予測およびその増強	栗林 景晶	臨床検査医学講座	2,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
有機リン剤(農薬・神経剤)中毒に対する治療薬・予防薬の神経学的作用機序の解明	成松 英智	救急・集中治療医学講座	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
蘇生後脳症に対する幹細胞移植のトランスレーショナルリサーチ	宮田 圭	救急・集中治療医学講座	1,200,000	補委	文部科学省
乳酸値(d体)を用いた腸管虚血・壊死の早期診断法の確立	巽 博臣	救急・集中治療医学講座	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
カルシトニン遺伝子関連ペプチドファミリーによる痛みの機序解明	成松 英智	救急・集中治療医学講座	130,000	補委	信州大学
救急医療体制の推進に関する研究(H20-医療-一般-009)	浅井 康文	救急・集中治療医学講座	500,000	補委	日本医科大学
口腔癌におけるSFRP遺伝子の発現解析と分子標的の開発	曾我部 陽平	口腔外科学講座	1,700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
口腔癌における腫瘍内微小血管形成に関する転写因子の役割の解明	荻 和弘	口腔外科学講座	2,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
局所免疫寛容を誘導する同種再構築皮膚の開発に関する基礎研究	松本 佳隆	形成外科学	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
半側空間無視に対するプリズム順応を用いた治療に関する検討	太田 久晶	リハビリテーション医学	300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
介護家族と介護職のウェルビーイングに関する定性的・定量的両手法による融合的研究	本間 真理	リハビリテーション医学	100,000	補委	北翔大学
「慢性疼痛患者の語り」データベース化への試み	本間 真理	リハビリテーション医学	260,000	補委	東海大学

がん診療を標準化するための病理診断基準確立に関する研究	長谷川 匡	病理診断学講座	1,000,000	補委	国立がん研究所
さっぽろバイオクラスター構想"Bio-S" アレルギー・炎症反応評価による機能性食品素材開発	氷見 徹夫	耳鼻咽喉科学講座	10,000,000	補委	北海道科学技術総合 振興センター

計 132件

雑誌名 掲載発行年月日・号数	題名	発表者氏名	所属部門
入門腫瘍内科学. 監修 日本臨床腫瘍学会	消化管間質腫瘍(GIST)	篠村恭久	第一内科
改訂第4版 造血器腫瘍 アトラス. 形態、免疫、 染色体と遺伝子.	Epigenetic changesと白血病—CpGアイルランドのメチル化やヒストン脱アセチル化.	豊田 美	第一内科
Method Molecular Biology. 2009, 512:55-69	Inflammation-related aberrant patterns of DNA methylation: detection and role in epigenetic deregulation of cancer cell transcriptome.	Suzuki H	第一内科
内科学書. 中山書店. 2009, 73-74	特殊な胃炎.	山本博幸	第一内科
消化器 研修ノート. 診 断と治療社. 2009, 172-184	胃良性腫瘍	田沼徳真	第一内科
シェーグレン症候群の診 断と治療マニュアル. 診 断と治療社. 2009, 172-184	IgG4関連疾患.	高橋裕樹	第一内科
Cancer Sci 2009, 100:457-464	Identification of C2orf18, termed ANT2BP (Ant2-binding protein), as one of the key molecules involved in pancreatic carcinogenesis.	Kashiyawa K	第一内科
感染 炎症 免疫 2009, 39:44-47	全身性IgG4関連疾患(SIPS).	山本元久	第一内科
Frontiers in Gastroenterology 2009, 14:108-120	未分化型胃癌のハイリスク群とDNAメチル化異常	篠村恭久	第一内科
Cancer Res 2009, 69:8447-8454	Epigenetic inactivation of the circadian clock gene BMAL1 in hematologic malignancies.	Taniguchi H	第一内科
Lancet. 2009, May; 373	Voglibose for prevention of type 2 diabetes mellitus: a randomised, double-blind trial in Japanese individuals with impaired glucose tolerance.	島本 和明	第二内科
Circ J 2009, May; 73	Are treatment effects of ACEI and ARB in post-MI patients homogenous?	三浦 哲嗣	第二内科
J Atheroscler Thromb 2009, Jul; 16	Increased serum apolipoprotein B48 concentration in patients with metabolic syndrome.	島本 和明	第二内科
J Atheroscler Thromb 2009, Aug; 16	A promoter polymorphism of Lamin A/C gene is an independ genetic predisposition to arterial stiffness in Japanese general population (The Tanno and Sobetsu	赤坂 憲	第二内科
Hypertens Res 2009, Aug; 32	C allele of angiotensin II type 1 receptor gene A1166C polymorphism affects plasma adiponectin concentrations in healthy young Japanese women.	赤坂 憲	第二内科
Cardiovasc Diabetol. 2009, Aug; 8	Visceral fat dominant distribution in male type 2 diabetic patients is 454. closely related to hepatic insulin resistance, irrespective of body type.	宮崎 義則	第二内科
Cell Stress Chaperones 2009, Sep; 14	MAPKAPK-2 modulates p38-MAPK localization and small heat shock protein phosphorylation but does not mediate the injury associated with p38-MAPK activation during myocardial ischemia.	丹野 雅也	第二内科
Am J Cardiol 2009, Sep; 104	Comparison of blood glucose values on admission for acute myocardial infarction in patients with versus without diabetes mellitus.	土橋 和文	第二内科
Circ Arrhythm Electrophysiol 2009, Oct; 2	Long-term prognosis of probands with Brugada-pattern ST-elevation in leads V1-V3.	土橋 和文	第二内科
Diabetes. 2009 Dec; 58	Endoplasmic reticulum stress in diabetic hearts abolishes erythropoietin-induced myocardial protection by impairment of phospho-glycogen synthase kinase-3 $\beta$ -mediated suppression of mitochondrial permeability transition.	三木 隆幸	第二内科
Circ J 2009, Dec; 73	Incremental prognostic value of stress/rest gated perfusion SPECT in patients with coronary artery disease-subanalysis of the J-ACCESS study.	橋本 暁佳	第二内科

JACC Cardiovasc Imagin 2009, Dec; 2	Prediction of new-onset refractory congestive heart failure using gated myocardial perfusion SPECT imaging in patients with known or suspected coronary artery disease subanalysis of the J-ACCESS database	橋本 暁佳	第二内科
J Echocardiogr 2009, Dec; 7	Prognostic implication of left atrial dilatation evaluated by echocardiographic volume in patients with normal left atrial antero-posterior dimensions.	湯田 聡	第二内科
Circ Res 2010, Jan; 106	Angiotensin II type 1 receptor-mediated upregulation of calcineurin activity underlies impairment of cardioprotective signaling in diabetic hearts.	三浦 哲嗣	第二内科
Hypertens Res 2010, Mar; 33	Association of gene polymorphism of the fat-mass and obesity-associated gene with insulin resistance in Japanese.	赤坂 憲	第二内科
日本呼吸器学会雑誌	肝動静脈奇形を伴った両側の肺動静脈奇形に対しコイル塞栓術で治療した1例	高橋 弘毅	第三内科
Cancer Sci. 2009 May;100(5):	Drug resistance is dramatically restored by hedgehog inhibitors in CD34(+) leukemic cells.	小船雅義	第四内科
J Gastroenterol. 2009;44(9):	Suppressive effect of sulindac on branch duct-intraductal papillary mucinous neoplasms.	林毅	第四内科
Med Sci Monit. 2009 Oct;15(10):	Knowledge of Vibrio vulnificus infection among Japanese patients with liver diseases: a prospective multicenter study.	加藤淳二	第四内科
Hepatol Res. 2009 Jul;39(7):	Case-control study for the identification of virological factors associated with fulminant hepatitis B.	加藤淳二	第四内科
Intern Med. 2009;48(1):	Late onset neutropenia and immunoglobulin suppression of the patients with malignant lymphoma following autologous stem cell transplantation with rituximab.	平山泰生	第四内科
Br J Pharmacol	Neuroprotection by donepezil against glutamate excitotoxicity involves stimulation of alpha7 nicotinic receptors and internalization of NMDA receptors.	下濱 俊	神経内科
Clin Neurophysio	Correlation of bite force with excitation-contraction coupling time of the masseter in myasthenia gravis.	津田笑子	神経内科
Intern Med	Response of serum carboxylated and undercarboxylated osteocalcin to risedronate monotherapy and combined therapy with vitamin K(2) in corticosteroid-treated patients: a pilot study.	保月隆良	神経内科
Neurobiol Dis.	Intraneuronal amyloid beta accumulation and oxidative damage to nucleic acids in Alzheimer disease.	下濱 俊	神経内科
Biochem Biophys Res Commun	PI3K inhibition causes the accumulation of ubiquitinated presenilin 1 without affecting the proteasome activity.	下濱 俊	神経内科
Intern Med	Transient oculomotor palsy correlated with nerve enhancement on MRI in chronic inflammatory demyelinating polyneuropathy.	津田笑子	神経内科
Biochem Biophys Res Commun	Dopamine facilitates alpha-synuclein oligomerization in human neuroblastoma SH-SY5Y cells.	下濱 俊	神経内科
Epilepsia	Mutations in LGI1 gene in Japanese families with autosomal dominant lateral temporal lobe epilepsy: the first report from Asian families.	川又 純	神経内科
Am J Pathol	Involvement of WAVE accumulation in Abeta/APP pathology-dependent tangle modification in Alzheimer's disease.	下濱 俊	神経内科
Biol Pharm Bull	Nicotinic receptor-mediated neuroprotection in neurodegenerative disease models.	下濱 俊	神経内科
Eur J Neurol 2009 Feb;16(2)	Diagnostic accuracy of cardiac metaiodobenzylguanidine scintigraphy in Parkinson disease.	下濱 俊	神経内科
J Neurochem 2009 Jan;108(2)	N-cadherin-based adhesion enhances Abeta release and decreases Abeta42/40 ratio.	下濱 俊	神経内科

J Neurosci Res 2009 Feb;87(2)	Nicotinic receptor stimulation protects nigral dopaminergic neurons in rotenone-induced Parkinson's disease models.	下濱 俊	神経内科
Clinical Neurophysiology	Correlation of bite force with excitation-contraction coupling time of the masseter in myasthenia gravis	津田笑子	神経内科
脳卒中31, 586-589, 2009	日本脳卒中協会北海道支部と北海道三医大の救急医学講座の協力とPCEC/PSLSの開催	齊藤正樹	神経内科
ER マガジン 6:145-147, 2009	NIHSS( National Institutes of Health Stroke Scale ) 救急隊やストロークチームに指導するときのポイント	齊藤正樹	神経内科
BRAIN NURSING 11: 49-52, 2009	地域医療連携の実例 砂川地域	齊藤正樹	神経内科
Medical Network病院新時代 42:12-15, 2009	道内の脳卒中治療向上のためPCEC/PSLSコースを開催	齊藤正樹	神経内科
Medical Network病院新時代 特別編集号3:39-42, 2009	道内の脳卒中治療向上のためPCEC/PSLSコースを開催	齊藤正樹	神経内科
BRAIN NURSING 26 :26, 429, 2010	スッキリ解決Q&A 第48回 正常圧水頭症でVPシャント術をしました	齊藤正樹	神経内科
頸動脈エコー法の臨床	頸動脈病変の評価(血流の意義)	齊藤正樹	神経内科
脳卒中32 129-132, 2010	非弁膜性心房細動に伴う脳梗塞の重症度・転帰とCHADS2スコアとの関連に関する研究	齊藤正樹	神経内科
頸動脈エコー法の臨床 45-51, 2010	頸動脈病変の評価(血流の意義)	齊藤正樹	神経内科
頸動脈エコー法の臨床 74-79, 2010	頸動脈病変の評価(血流の意義)	齊藤正樹	神経内科
今日の消化器疾患治療指針第3版 2009, 685-687	糖原病 (Glycogen storage disease)	久原 真	神経内科
レジデント 2010; 3: 92-9	神経内科でみる意識障害	齊藤正樹	神経内科
Biochemical and Biophysical Research Communications 2009, 386(4), 671-675	Transcriptional activation of NAD <sup>+</sup> -dependent protein deacetylase SIRT1 by nuclear receptor TLX	Naotoshi Iwahara	神経内科
臨床外科 2009;64(7):911-7	胆道癌術後化学療法の実例	平田 公一	第一外科
Surgery Frontier 2009;16(2):63-71	膵炎の病因と治療	平田 公一	第一外科
救急・集中治療 2009;21(7・8):1083-108	ショック肝の発生メカニズムと対策は?	平田 公一	第一外科
臨床外科 2009;64(11):340-344	膵管-空腸側々吻合(Frey手術)	平田 公一	第一外科
膵脾外科の要点と盲点 第2版:256-257	ガイドラインからみた疫学、診断および重症度診断	平田 公一	第一外科
消化器癌科学療法 2009;改訂2版:98-107	消化器癌に対する多剤併用療法	平田 公一	第一外科
Surgery Frontier 2009;16(3):17	今日の再生医学・再生医療の現状	平田 公一	第一外科
肝胆膵 2009;59(2):263-274	急性膵炎難治性合併症に対する外科的アプローチ	平田 公一	第一外科

臨床外科 2009;64(11):284-288	肝実質の縫合	平田 公一	第一外科
外科治療 2009;101(6):665-673	乳癌に対する外科治療の最近の動向	平田 公一	第一外科
臨床外科 2009;65(1):17-28	最近のがん診療ガイドラインの動向	平田 公一	第一外科
漢方医学 2009;34(1):8-11	生まれつつある漢方薬のエビデンス診療ガイドラインにおける漢方薬の役割	平田 公一	第一外科
The word on Digestive Surgery 2009;10(2):5	膵癌治療としての膵切除後の癌関連アウトカムに対する肥満の影響	平田 公一	第一外科
日本臨床 2010;68(3):1-9	静脈・経腸栄養(第3版)ー基礎・臨床研究のアップデートー 序文ー臨床栄養・代謝学に携わる医療関係者への期待ー	平田 公一	第一外科
手術 2009;62(12):1837-1986	複数科領域にまたがる専門性の高い手術 1~3	塩崎 均	第一外科
臨床と研究 2009;86(11):1444-1448	小腸疾患診断のコツ 虚血性腸疾患	古畑智久	第一外科
ベストナース 2009;(12):46-49	疾患と看護 大腸癌(下)	古畑智久	第一外科
消化器外科 2009;32:213-220	腹腔鏡補助下肝外側区域切除術 皮膚小切開と3ポートによる手術	水口 徹	第一外科
胆道 2009;23(5):725-733	中・下部胆管癌切除症例の検討; 予後因子としての胆管断端癌陽性のインパクト	木村康利	第一外科
消化器外科 2009;32(11):1747-1757	【胆道癌の診断と治療 最近の進歩】胆道癌の手術中・下部胆管癌の手術	今村将史	第一外科
12th Breast cancer update meeting 2009;16-17	n+, ER+, HER2-乳がん推奨される補助化学療法は?	大村東生	第一外科
SERECT BC通信 2009;24:1	臨床試験登録に寄せて	大村東生	第一外科
乳癌診療ハンドブック改定第2版 福富隆志編著 中外医薬社、東京 2009;204-224	再発乳癌の治療 福富隆志編著 中外医薬社、東京2	平田公一	第一外科
癌医療を専門とする医師を目指す方へ2 2009;8-9	乳がん領域をめざす皆さんへ、財団法人がん集学的治療研究財団編、リサーチ出版、東京	平田公一	第一外科
日本臨床 2009;31(5):744-75	【静脈・経腸栄養(第3版) 基礎・臨床研究のアップデート】	信岡隆幸	第一外科
消化器外科 2009;32(9):1457-1466	【食道良性疾患の治療】食道穿孔	信岡隆幸	第一外科
ICUとCCU 2010;34(3):199-204	特集 急性期呼吸不全の栄養管理ー経腸栄養を中心にー 呼吸不全患者に適した経腸栄養の組成	巽 博臣	第一外科
日本集中治療医学会雑誌 2009;16(2):187-190	胃内容の停滞したICU患者に対して六君子湯が有効であった3症例	巽 博臣	第一外科
レジデントノート 2009;11(7):1046-1049	シリーズ輸液~この病態に出会ったら? 第7回 侵襲期の輸液栄養管理	巽 博臣	第一外科
消化器外科 2009;32(4):507-515	敗血症からDICにおける薬物治療について	目黒 誠	第一外科

Surgery Frontier 2009;16(4):110-114	肝切除後の敗血症作成モデルにおける肝循環不全とプロテアーゼインヒビター	目黒 誠	第一外科
外科治療 2009;101(3):212-219	A.外科基本手技・処置 体位・覆布	目黒 誠	第一外科
北海道外科雑誌 2009;54(2):119-123	当科の肝切除術における創管理法の工夫と術後創感染の検討	目黒 誠	第一外科
SURGERY FRONTIER 2009;16(4):471-475	癌の浸潤転移における腫瘍随伴マクロファージの役割	沖田憲司	第一外科
侵襲と免疫 2010;19(1):13-19	Vancomycin-resistant Staphyrococcus aureus (VRSA) 感染症およびVancomycin-resistant Enterococci (VRE) 感染症	沖田憲司	第一外科
Surgery Frontier 2010;17(1):59-62	Non-coding regionにおける遺伝子制御の最近の知見 VNTR(variable number of tandem repeats)遺伝子多型と発癌のかかわり	西館敏彦	第一外科
Surgery Frontier 2009;16(2):208-213	オートファジーを介した抗原提示	奥谷浩一	第一外科
最新医学 2391	熱ショックタンパク質のがんワクチンへの応用	奥谷浩一	第一外科
Biotherapy 2010;24(1):27-33	Heat shock protein 90による免疫応答増強効果の臨床応用をめざして	奥谷浩一	第一外科
侵襲と免疫 2009;18(4):27-31	耐糖能障害患者の術後管理	齋藤慶太	第一外科
Int J Clin Oncol 2009;14(6):529-533	Effects of a low-fat meal on the oral bioavailability of UFT and leucovorin in patients with colorectal cancer.	Furuhata T	第一外科
J Gastrointest Surg 2009;13:325-333	Prognostic !! impact of surgical complications and preoperative serum hepatocyte growth factor in hepatocellular carcinoma patients after initial hepatectomy.	Mizuguchi T	第一外科
Ann Surg 2009;249(6):986-994	Reconsideration of postoperative oral intake tolerance after pancreaticoduodenectomy: prospective consecutive analysis of delayed gastric emptying according to the ISGPS definition and the amount of dietary intake.	Akizuki E	第一外科
Surg Today 2009;249(6):986-994	Acinar cell carcinoma of the pancreas with intraductal growth: report of a case.	Imamura M	第一外科
J Hepatobiliary Pancreat 2010;17(1):60-69	Gallstone-induced acute pancreatitis.	Kimura Y	第一外科
Liver Int 2009;29(6):986-994	Impaired liver regeneration with humoral and genetic disturbances in urinary trypsin inhibitor-deficient mice.	Nobuoka T	第一外科
Surg Today 2009;39:1006-1009	Acinar Cell Carcinoma of the Pancreas with Intraductal Growth: Report of a Case	M. IMAMURA	第一外科
Tumor Res. 2009;44:1-8	Surgical benefits of liver hanging maneuver for hepatectomy of huge liver tumor	Meguro M	第一外科
J Hand Surg[Eur] 34 : 219-223, 2009.	Effect of triangular ligament tears on distal radioulnar joint instability and evaluation of three clinical tests: A biomechanical study.	Moriya T	整形外科
J Transl Med 7:44, 2009.	HLA-A*0201-restricted CTL epitope of a novel osteosarcoma antigen, papillomavirus binding factor.	Tsukahara T	整形外科
Cancer Sci 100: 47-53, 2009.	Scythe/BAT3 regulates apoptotic cell death induced by papillomavirus binding factor in human osteosarcoma.	Tsukahara T	整形外科



Br J Cancer 101: 1425-1432, 2009.	Side population cells have the characteristics of cancer stem-like cells/cancer-initiating cells in bone sarcomas.	Murase M	整形外科
Rheumatology 48:227-232, 2009.	Femoral head osteonecrosis can be caused by disruption of the systemic immune response via the toll-like receptor 4 signalling pathway.	Okazaki S	整形外科
J Spinal Disord Tech 22: 328-333, 2009.	Diagnostic feature of sciatica without lumbar nerve root compression.	Yoshimito M	整形外科
Am J Sports Med 2009 Aug 4. [Epub ahead of print]	Mechanical stability of the subtalar joint after lateral ligament sectioning and ankle brace application: A biomechanical experimental study.	Kamiya T	整形外科
Wound Repair Regen 17: 108-112, 2009.	Impaired cutaneous wound healing in mice lacking tetranectin.	Iba K	整形外科
J Orthop Sci 14:167-174, 2009	Functional outcomes after arthroscopic treatment of lateral epicondylitis.	Wada T	整形外科
J Bone Joint Surg 91-B: 784-788, 2009	The level of vascular endothelial growth factor as a predictor of a poor prognosis in osteosarcoma.	Kaya M	整形外科
J Bone Joint Surg 91-B: 1142-1147, 2009	Cementless hip replacement with subtrochanteric femoral shortening for severe developmental dysplasia of the hip.	Nagoya S	整形外科
Clin Biomech 24: 655-660, 2009.	Analysis of joint laxity after total ankle arthroplasty: Cadaver study	Watanabe K	整形外科
Spine 33:2483-2488, 2009.	Gene expression profile of dorsal root ganglion in a lumbar radiculopathy model.	Takeuchi H	整形外科
Osteoarthritis Cartilage. 2009 Nov 19. [Epub ahead of print]	Phenotypic characterization of epiphykan-deficient and epiphykan/biglycan double-deficient mice.	Nuka S	整形外科
北海道整災外 50:204-207, 2009	TFCC損傷の症状を有する尺側手根伸筋腱鞘炎の病態-4例報告-	大木豪介	整形外科
北海道整災外 50:208-215, 2009	当センターにおける経皮的内固定による骨盤輪骨折の治療成績	入船秀仁	整形外科
北海道整災外 50:224-227, 2009	不安定型肘関節脱臼骨折に伴う橈骨頭粉碎骨折に対するJudet型人工橈骨頭置換術	大木豪介	整形外科
北海道整災外 51: 13-18, 2009	横紋筋肉腫の亜型診断におけるFKHRプローブを用いたFISH解析の有用性	松村忠紀	整形外科
北海道整災外 51:19-25, 2009	腰部神経根性疼痛発生における交感神経の関与:行動学的、免疫組織学的研究	水野諭	整形外科
北海道整災外 51:80-82, 2009.	骨Paget病に続発した二次性骨肉腫の一例	柏 隆史	整形外科
北海道整災外 51:83-85, 2009	手部に発生した蔓状線維組織球形腫瘍の一例	瀧村浩介	整形外科
北海道整災外 51:90-93, 2009.	Fowler法による陳旧性腱性槌指の手術経験-2症例報告-	村田憲治	整形外科
北海道整災外 52:228-230, 2009.	下肢全域に進展し、股関節離断術に至った下肢巨大AVMの一例	大西史師	整形外科
北海道整災外 52:163-167, 2009.	外傷性頸部症候群に対する手術的治療 -最近の考え方-	竹林庸雄	整形外科
北海道整災外 52:695-704, 2009.	整形外科慢性疼痛外来の現状と治療の実際	村上孝徳	整形外科
北海道整災外 52:999-1003, 2009.	当科における人工股関節臼蓋側再置換術3年以上の成績	佐々木幹人	整形外科

北海道整災外 52:1071-1076, 2009.	腰椎外側部神経障害の診断と治療、外側型腰椎椎間板ヘルニアの診断と内視鏡下椎間板切除術	吉本三徳	整形外科
北海道整災外 52:1693-1696, 2009.	腰部脊柱管狭窄に対する内視鏡下後方除圧術後、早期に競歩競技に復帰できた高齢者スポーツ選手の1例	岩瀬岳人	整形外科
肩関節 33:377-380, 2009	鏡視下腱板修復術後早期におけるMRI像の検討	廣瀬聡明	整形外科
肩関節 33:615-618, 2009.	肩腱板断裂の術後1か月のMRIで再断裂は予想できるか	堀籠圭子	整形外科
肩関節 33:751-755, 2009.	Double Anchor Footprint Fixation法を用いた鏡視下腱板修復術のMRI評価: Double Row法との比較	野中伸介	整形外科
日手会誌 25:859-861, 2009.	手根管症候群に合併する肩甲部痛	大木豪介	整形外科
日手会誌 25:936-939, 2009.	母指機能障害を伴った合短指症の術後成績	射場浩介	整形外科
関節鏡 34:289-293, 2009.	腱板断裂の経時的変化-断裂サイズ、罹病期間、外傷の有無との関連からの考察-	上野栄和	整形外科
日本人工関節学会誌 39:364-365, 2009.	Anterolateral approach (Modified Watson-Johns)における関節包と梨状筋の関係-cadaver study-	佐々木幹人	整形外科
Osteoporosis Jpn 17: 9-12, 2009.	Hip Structure Analysisによるラロキシフェンの治療評価	高田潤一	整形外科
Osteoporosis Jpn 17:570-575, 2009.	アレンドロネートが下肢痛改善に有効であったCamurati-Engelmann病の1症例	射場浩介	整形外科
Osteoporosis Jpn 16:640-643, 2009.	Hip Structure Analysisを用いた骨粗鬆症の治療評価	高田潤一	整形外科
Hip Joint 35:226-229, 2009.	寛骨臼回転骨切り術(RAO)における恥骨骨切り部と閉鎖動脈との関係~cadaver study~	佐々木幹人	整形外科
Hip Joint 35:361-364, 2009.	特発性大腿骨頭壊死症に対する血管柄付き長骨移植術の組織学的検討	小助川維摩	整形外科
北海道整形外科外傷研究会誌 25:38-43, 2009	逆行性指動脈皮弁術術後の指ROMの検討	辻 英樹	整形外科
別冊整形外科 56:98-102, 2009.	陈旧性第5手根中手関節内骨折に対する第4・5中手骨基部固定術	射場浩介	整形外科
東日本整災会誌 21:96-100, 2009.	腰椎分離症に対する顕微鏡下分離部修復術の成績	堀 清成	整形外科
関節外科 28:725-731, 2009.	椎体骨折後偽関節と脊椎骨腫瘍へのセメント注入	川口 哲	整形外科
生物物理化学 53:1-7, 2009	Multiple reaction monitoringをバリデーションに用いた質量分析による血漿バイオマーカー探索システムの検討	佐々木浩一	整形外科
臨床スポーツ医学 26:1305-1308, 2009.	スポーツ用装具を考える 成長期スポーツ選手の腰椎疲労骨折治療に用いる軟性装具の固定力と機能評価	中野和彦	整形外科
J Neurosurg 111: 845-854, 2009	Hearing preservation in surgery for large vestibular schwannomas.	Wanibuchi M, et al	脳神経外科
Acta Neurochir 151:1499-1503, 2009	Simple identification of the third segment of the extracranial vertebral artery by extreme lateral inferior transcondylar-transtubercular exposure (ELITE).	Wanibuchi M, et al	脳神経外科
脊髄外科 23: 265-270, 2009	頸椎変性疾患の外科治療:基本と応用.	小柳 泉	脳神経外科

脳神経外科 37:1249-1259, 2009	脳神経外科疾患治療のスタンダード 13. 脊椎・脊髄損傷	小柳 泉	脳神経外科
CI研究 31:105-108, 2009	前交通動脈瘤に対するbasal interhemispheric approach.	鰐淵昌彦、他	脳神経外科
総合臨床 58:217-220, 2009	神経再生治療.	本望 修、他	脳神経外科
分子脳血管病 8:169-172, 2009	白質病変—分子レベルからみた病態・治療の新展開— 骨髄幹細胞移植による脳虚血障害の治療—.	本望 修、他	脳神経外科
神経治療学 26:753-757, 2009	脳血管障害の再生医療.	本望 修	脳神経外科
医学のあゆみ 231:553-556, 2009	脳梗塞の神経再生医療.	本望 修、他	脳神経外科
医学のあゆみ 231:1097-1100, 2009	骨髄幹細胞と神経再生.	本望 修	脳神経外科
Pediatr Cardiol 2009;30:59-69.	Inverse independent component analysis facilitates clarification of the accessory conductive pathway of Wolf-Parkinson-White syndrome electrocardiogram.	Yanai S, et al	小児科
Pediatr Blood Cancer 2009;53:203-205.	Treatment of an infant with severe acute refractory immune thrombocytopenic purpura using combination therapy including rituximab.	Iesato K, et al	小児科
Pediatr Blood Cancer 2009;53:22-231.	An infant with self-healing cutaneous langerhans cell histiocytosis followed by isolated thymic relapse.	Hatakeyama N, et al	小児科
Microbiol Immunol 2009;53:319-322.	Occurrence of the African subgroup (Ia) of BK polyomavirus in younger Japanese children	Tanaka K, et al	小児科
Clin Vaccine Immunol 2009;16:859-865.	Fosfomycin suppresses chemokine induction in airway epithelial cells infected with respiratory syncytial virus.	Okabayashi T, et al	小児科
J Clin Virol 2009;46:94-97.	Detection of enteric viruses in rectal swabs from children with acute gastroenteritis attending the pediatric outpatient clinics in Sapporo, Japan.	Nakanishi K, et al	小児科
J Virol 2009;83:10975-10980.	Analysis of nucleotide sequences of human parvovirus B19 genome reveals two different modes of evolution, a gradual alteration and a sudden replacement: a retrospective study in Sapporo, Japan, from 1980 to 2008	Suzuki M, et al	小児科
Psychiatry Clin Neurosci 2009;63:772-774.	WISC-III profiles of subjects with high-functioning pervasive developmental disorders who visited child and adolescent psychiatry clinics at a university hospital.	Teshirogi H, et al	小児科
J Cutan Pathol 2009 Oct 15. [Epub ahead of print]	Cytokeratin expression patterns in multiple infundibulocystic basal cell carcinoma	Hida T	皮膚科
Int J Dermatol 48:210-212, 2009	Spontaneous regression of bowenoid papulosis in a patient with acquired immunodeficiency syndrome after an increase in peripheral CD4+ T lymphocytes	Kawakami A	皮膚科
Wound Repair Regen 17:436-446, 2009	De novo follicular regeneration of the skin by wingless int 3 and bone morphogenetic protein 2 genes introduced into dermal fibroblast and fibroblast growth	Ono I	皮膚科
Pigment Cell Melanoma Res 22:623-34, 2009	Agouti protein, mahogunin, and attractin in pheomelanogenesis and melanoblast-like alteration of melanocytes: a cAMP-independent pathway	Hida T	皮膚科
J Invest Dermatol 129:2233-2241, 2009	N-propionyl- cysteaminyphenol-magnetite conjugate (NPrCAP/M) is a nanoparticle for the targeted growth suppression of melanoma cells	Sato M	皮膚科
J Biomed Biotech Epub 2009 Oct 8	Growth inhibition of re-challenge B16 melanoma transplant by conjugates of melanogenesis substrate and magnetite nanoparticles as the basis for developing	Kamiya T	皮膚科
Skin Surgery 18:137-145, 2009	増殖因子 (bFGF) 投与による手背の若返り治療-皮膚粘弾性の改善効果から見た効果の解析	小野一郎	皮膚科
PEARS 25:9-18, 2009	小児熱傷の局所治療の展望-増殖因子製剤 (basic fibroblast growth factor) を用いる深達性II度熱傷層の治療	小野一郎	皮膚科

形成外科 52:927-938, 2009	治療剤としての増殖因子-コラーゲンスポンジとの併用を中心に. 特集、難治性潰瘍の新しい治療法	小野一郎	皮膚科
形成外科診療プラクティス 2009:249-250	形成外科医に必要な皮膚腫瘍の診断と治療 A.悪性腫瘍:顔面 11. 耳 局所皮弁	四ッ柳高敏	形成外科
形成外科診療プラクティス 2009:263-264	形成外科医に必要な皮膚腫瘍の診断と治療 A.悪性腫瘍:顔面 16. 口唇 局所皮弁	四ッ柳高敏	形成外科
形成外科 2009:52増刊 s77-85	10.耳介変形・欠損の再建法.	四ッ柳高敏、山内 誠、	形成外科
形成外科 2009:52(12):1407-1415	耳介熱傷瘢痕拘縮に対する皮弁再建	四ッ柳高敏、新井孝志郎、須田徹也、山下 建、齋藤 有、漆館聡志	形成外科
形成外科ADVANCEシリーズII-6 2009:66-75	各種局所皮弁による顔面再建 最近の進歩(第2版)1. 総論 7.耳介の再建	四ッ柳高敏、山内 誠	形成外科
J.Plast. Reconstr. Aesthet. Surg 2009:62(8):997-1003	Estlander flap combined with an extended upper lip flap technique for large defects of lower lip with oral commissure.	Yamauchi M, Yotsuyanagi T, Ezoe K, Saito T, Yokoi K, Urushidate S.	形成外科
J.Plast. Reconstr. Aesthet. Surg 2009:62(8):1020-4	The acute surgical management of injury to the helix and antihelix in patients with large body surface area burns.	Saito T, Yotsuyanagi T, Ezoe K, Ikeda K, Yamauchi M, Arai K, Urushidate S, Mikami M.	形成外科
Jpn. J. Radiol 2009:27:297-302	Effects of blood flow control on clinical outcomes after ethanalamine oleate sclerotherapy for vascular malformations.	Hyodoh H, Akiba H, Hyodoh K, Ezoe K, Yotsuyanagi T, Hareyama M	形成外科
J.Plast. Reconstr. Aesthet. Surg 2009:62:e570-573	Reconstruction of a red lip that has a defect in one half, using the remaining red lip.	Suda T, Yotsuyanagi T, Ezoe K, Saito T, Ikeda K, Yamauchi M, Arai K	形成外科
日形会誌 2009:29(4):235-238	薄筋弁を用いた直腸腔瘻の治療経験	池田佳奈枝、齋藤 有、中川嗣文、江副京理、四ッ柳高敏	形成外科
日形会誌 2009:29(5):302-306	小耳症におけるドレッシングの工夫	三上 誠、四ッ柳高敏、槌熊有子、漆館聡志、横井克憲	形成外科
日形会誌 2009:29(6):364-369	頬骨骨折を受傷した血友病A患者の1治療例	山内 誠、江副京理、四ッ柳高敏、齋藤 有、新井孝志郎	形成外科
日形会誌 2009:29(7):433-437	二期的乳房再建後にToxic Shock Syndrome (TSS)を発症した1例	山内 誠、江副京理、四ッ柳高敏、齋藤 有、吉川摩由	形成外科
皮膚臨床 2009:51(7):937-940	慢性円板状エリテマトーデス患者の下口唇に発生した有棘細胞癌の2例	山内 誠、四ッ柳高敏、横井克憲、漆館聡志、槌熊有子、三上 誠	形成外科
皮膚臨床 2009:51(10):1281-12	色素性乾皮症患者の眼瞼に発生した有棘細胞癌の2例.	山内 誠、四ッ柳高敏、横井克憲、漆館聡志、渡辺庸介、齋藤真喜子	形成外科
形成外科 2009:52(12):1467-14	耳介皮膚剥脱創に対して側頭頭頂筋膜弁を用いて再建した1例	吉川摩由、四ッ柳高敏、池田佳奈枝、山内 誠、新井孝志郎、須田徹也	形成外科
形成外科診療プラクティス 2010:3.31:180-181	E. 再建部位別の標準的な皮弁手術4. 耳介の再建	山下 建、四ッ柳高敏	形成外科
ENTONI 104:12-20,2009.	【耳鼻咽喉科アレルギーの治療薬update】口腔・咽頭のアレルギー疾患と治療薬の使用法	氷見徹夫	耳鼻咽喉科
耳展 52:補1 9-18,2009.	「経鼻投与による気道炎症性疾患の制御は可能か？」ヒト鼻粘膜の機能解析から見えてくること	氷見徹夫	耳鼻咽喉科
ENTONI No.107,2009.	すぐに役立つ耳鼻咽喉科臨床検査 耳鼻咽喉科感染症疾患における血液検査	氷見徹夫	耳鼻咽喉科
アレルギー・免疫Vol.16 (12),2009.	アレルギー性鼻炎の感作から発症まで	氷見徹夫	耳鼻咽喉科
JOHNS 25(3):297-300,2009.	ここが知りたいアレルギー性鼻炎のQ&A ケミカルメディエーターはアレルギー性鼻炎の病態形成にどのように関係しているのか教えてください。	白崎英明	耳鼻咽喉科

アレルギーと神経ペプチド 5:27-30,2009.	上気道への感覚刺激物質とアレルギー性鼻炎	白崎英明	耳鼻咽喉科
JOHNS 25(7):1007-1010,2009.	【耳鼻咽喉科と副腎皮質ステロイド エビデンスを探る】 副腎皮質ステロイド治療の臨床	高野賢一	耳鼻咽喉科
耳鼻臨床 102(1):67-71,2009.	頸部腫脹で発症し診断に苦慮した学童期発症の川崎病 例	正木智之	耳鼻咽喉科
Oral Med Pathol 14:41-47,2009	Clinicopathological characteristics of Mikulicz's disease and Kuttner's tumor	Himi T	耳鼻咽喉科
Ann Allergy Asthma Immunol 102:110-115,2009.	Accumulation of CRTH2-positive leukocytes in human allergic nasal mucosa	Shirasaki H	耳鼻咽喉科
Mediators Inflammation volume 2009,8 pages,2009.	Immunohistochemical localization of the bradykinin B1 and B2 receptors in human nasal mucosa	Shirasaki H	耳鼻咽喉科
Cell Tissue Res.2009	Thymic stromal lymphopoietin enhances tight-junction barrier function of human nasal epithelial cells	Kamekura R	耳鼻咽喉科
Otolaryngol Head Neck Surg 141(3):430-1,2009.	A case of reversible hyposmia associated with Mikulicz' disease	Takano K	耳鼻咽喉科
JOHNS Vol.26 No.2 2010	唾液腺腫瘍の治療における問題点 唾液腺腫大をきた す非腫瘍性疾患の診断と治療は	氷見徹夫	耳鼻咽喉科
アレルギーの臨床 No.398 2010.30巻 2月号	口腔アレルギー症候群 Up-to-date	氷見徹夫	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科・頭頸部外科 第82巻第1号 2010年	咽頭痛を主訴に初診したメトトレキサート関連リンパ増殖 性疾患の1例	亀倉隆太	耳鼻咽喉科
Histochem Cell Biol Published online:14 January 2010	Thymic stromal lymphopoietin induces tight-junction protein claudin-7 via NF- $\kappa$ B in dendritic cells	Ryuta Kamekura	耳鼻咽喉科
JOHNS Vol.26 No.2 2010	側頭骨内頸動脈走行異常	氷見徹夫	耳鼻咽喉科
北海道医誌 2009: 84(3): 159-162	精神科領域における再生医療的アプローチ.	齋藤利和	神経精神科
新薬と臨床 2009: 58(12) 115-120	低用量のプロナンセリンへの切り替えにより精神症状が 速やかに改善した統合失調症2例ープロナンセリン投与 量を考えるー.	境さやか, 木村永一, 畠山 大樹, 齋藤利和	神経精神科
臨床精神医学 2009: 38(4): 421-428	気分障害における神経回路網の修復再生と認知機能.	鶴飼渉, 橋本恵理, 石井 貴男, 吉永敏弘, 渡邊公 彦, 小野貴文, 館農勝, 渡	神経精神科
脳21 2009: 12(2): 195-199	非定型抗精神病薬の神経新生作用.	橋本恵理, 鶴飼渉, 小野 貴文, 齋藤利和	神経精神科
精神医学 2009: 51(6): 533-539	特発性正常圧水頭症とアルツハイマー型認知症の鑑別 におけるeZISの有用性.	小林清樹, 内海久美子, 館農勝, 森井秀俊, 齋藤 利和	神経精神科
月刊レジデント 2009: 2(9): 78-83	うつ病の治療.	館農勝, 齋藤利和	神経精神科
日本アルコール・薬物医学会雑誌 2009: 44(6): 674-679	アルコールによる脳障害に対する再生医療的アプロ ーチの可能性.	橋本恵理, 吉永敏弘, 石 井貴男, 齋藤諭, 鶴飼渉, 齋藤利和	神経精神科
日本アルコール・薬物医学会雑誌 2009: 44(6): 704-711	The common aspects of pathophysiology of alcoholism and depression.	Ukai W, Ishii I, Hashimoto E, Tateno M, Yoshinaga T, Ono T, Watanabe K, Watanabe I, Shirasaka T, Saito T.	神経精神科
精神神経学雑誌 2009: 111: 1234-1235	Post-graduate Psychiatric Training in Asia(アジアにお ける精神科卒後研修).	館農勝	神経精神科
臨床精神医学 2009: 38: 215-216	あの研究のアイデアが生まれたとき.	齋藤利和	神経精神科

新薬と臨床 2009; 58(9): 1540-1545	高用量blonanserinによる統合失調症の陽性症状改善効果と有害事象 Perospironeとの比較より.	松山清治, 塚本壇, 吉田雅至, 齋藤諭, 齋藤利和	神経精神科
老年精神医学雑誌 2010; 21(2): 253-260	レビー小体型認知症とアルツハイマー病におけるアポリタンパクE4の頻度.	小林清樹, 内海久美子, 館農勝, 相馬仁, 小海康夫, 中野倫仁, 齋藤利和	神経精神科
カレントセラピー 2010; 28(2): 108-112	診断と治療総論.	齋藤利和	神経精神科
精神科治療学 2010; 25(2): 273-278	甲状腺ホルモン補充療法が奏効した非定型精神病の1例. 精神科治療学	山本健治, 木村光隆, 塚本壇, 風間洋輔, 山川友子, 齋藤諭, 齋藤利和	神経精神科
精神神経学雑誌 2010; 112(1): 49-53	精神科医療における非自発的治療および行動制限について若手の視点で考える 急性期統合失調症に対する初期治療と行動制限について 若手精神科医を対象と	館農勝	神経精神科
Int J Ment Health Syst 2009; 3(1): 20	Attitude of young psychiatrists toward coercive measures in psychiatry: A case vignette study in Japan.	Tateno M, Sugiura K, Uehara K, Fujisawa D, Zhao Y, Hashimoto N,	神経精神科
Child Adolesc Psychiatry Ment Health 2009; 3(1): 30	The Practice of Child and Adolescent Psychiatry: A Survey of Early-Career Psychiatrists in Japan.	Tateno M, Uchida N, Kikuchi S, Kawada R, Kobayashi S, Nakano W, Sasaki R, Shibata K, Shirasaka T, Suzuki M, Uehara K, Saito T	神経精神科
Dement Geriatr Cogn Disord 2009; 28(4): 330-337	Two-Layer Appearance on Brain Perfusion SPECT in Idiopathic Normal Pressure Hydrocephalus: A Qualitative Analysis by Using Easy Z-Score Imaging	Kobayashi S, Tateno M, Utsumi K, Takahashi A, Morii H, Saito T	神経精神科
Psychiatry Res 2009; 174(1): 76-80	Decreased cardiac MIBG uptake, its correlation with clinical symptoms in dementia with Lewy bodies.	Kobayashi S, Tateno M, Morii H, Utsumi K, Saito T	神経精神科
Psychiatry Investig. 2009; 6(4): 233-40	Imaging improves diagnosis of dementia with Lewy bodies .	Tateno M, Kobayashi S, Saito T	神経精神科
Psychiatry Clin Neurosci 2010; 64(2):199-201	Attitudes of early-career psychiatrists in Japan toward child and adolescent psychiatry and their career decision.	Tateno M, Kato T, Nakano W, Teo AR, Nakagawa A, Miyajima K, Kanba S, Nakamura J, Saito T	神経精神科
Ultrasound in Med. & Biol. 2009 35(2)	Does contrast-enhanced ultrasound reveal tumor angiogenesis in pancreatic ductal carcinoma? A prospective study	Nishida M, Hareyama M.	放射線科
整形・災害外科 2009 52(1)	拡散強調MRIによる末梢神経障害の評価	玉川光春, 晴山雅人	放射線科
Jpn J Radiol 2009 27(8)	Effects of blood flow control on clinical outcomes after ethanolamine oleate sclerotherapy for vascular malformations	Hyodoh H, Hareyama M.	放射線科
Current Medical Imaging Reviews 2009 5(1)	Detection of the artery of Adamkiewicz before open surgery and endo-vascular aortic repair: A review	Hyodoh H, Hareyama M.	放射線科
Magn Reson Med Sci 2009 8(4)	MR angiography for detecting the artery of adamkiewicz and its branching level from the aorta	Hyodoh H, Hareyama M.	放射線科
J Med Ultrasonics 2009 36	High-intensity focused ultrasound induced apoptosis with caspase 3,8, and 9/6 activation in rat hepatoma	Hirokawa N, Hareyama M.	放射線科
Miller's Anesthesia (7th edition), Edited by Miller RD, Elsevier Inc., New York, 2009 pp60-1	Japan - Facilities and Equipment - The Modern Period: The Essentials of Modern Anesthesia Around the World. Chapter 3. The International Scope and Practice of	Namiki A, Yamakage M	麻酔科
医歯薬出版株式会社, 2009, pp90-8	超短時間作用性麻薬性鎮痛薬:レミフェンタニル, 土肥修司編. 麻酔科学UPDATE-学術の進歩と臨床麻酔の安全性	山蔭道明	麻酔科
総合医学社, 東京 2009, pp102-10.	15. 体温管理. II. 麻酔の技術. 創刊号「麻酔の現況と展望-研修医からの質問300-」. 麻酔科学レクチャー. 「麻酔科学レクチャー」編集委員会編	山蔭道明	麻酔科
克誠堂出版株式会社, 東京. 2009, pp65-75.	6. 整形外科背部(胸椎, 腰椎)手術における麻酔管理. レミフェンタニル麻酔の実際~100マス(麻酔)チャート~. 森田 潔編.	山蔭道明, 澤田敦史	麻酔科
克誠堂出版株式会社, 東 2009, pp5	概説. I. 催眠鎮静薬. 社団法人日本麻酔科学会編. 医薬品等適正使用推進施行事業-麻酔薬および麻酔関連薬使用ガイドライン	山蔭道明	麻酔科
克誠堂出版株式会社, 東京(改訂第3版). 2009, pp43-4.	エプタゾシン臭化水素酸塩eptazocine hydrobromide. II. 鎮痛薬・拮抗薬. 社団法人日本麻酔科学会編. 医薬品等適正使用推進施行事業-麻酔薬および麻酔関連薬	山蔭道明	麻酔科

別冊日本臨床 2009, 新 pp4203-9	呼吸器症候群(第2版)Ⅱ—その他の呼吸器疾患を含 めて—V肺循環の異常 A. 肺障害 溺水による肺障害.	今泉 均, 升田好樹	麻酔科
真興交易株式会社医書 2009	ホスピス緩和ケア病棟. 並木昭義監修. すぐに役立つ がん患者緩和ケアにおけるコメディカル の技とコツ超短時間作用性麻薬性鎮痛薬.	渡辺昭彦	麻酔科
真興交易株式会社医書 2009, pp 89-93	カウザルギー. CRPS(複合性局所疼痛症候群). 眞下 節, 柴田政彦編.	山内正憲	麻酔科
株式会社医学書院, 東京 2009, pp294-5	11.硬膜外ブロック. 透視下神経ブロック法. 大瀬戸清茂 編.	山内正憲, 関 忍	麻酔科
株式会社医学書院, 東京 2009, pp296-7	12.クモ膜下ブロック. 透視下神経ブロック法. 大瀬戸清 茂編.	山内正憲, 並木昭義	麻酔科
pp313-25	人工呼吸中のショック.	北 飛鳥, 今泉 均	麻酔科
ライフメディコム, 東京. 2009; pp73-80	婦人科・泌尿器科手術におけるロピバカインの臨床使用 の実際. 岩崎 寛 佐藤重仁 編. 基礎から臨床応用ま でロピバカイン(アナペイン)の上手な使い方.	新山幸俊, 川股知之	麻酔科
EMERGENCY CARE 2009; 夏季増刊 pp144-50	救命救急スタッフにすぐ役立つ検査データの取り方・読 み方・使い方. 4. 肺動脈カテーテル(PAカテーテル).	吉田真一郎, 今泉 均	麻酔科
総合医学社, 東京 2009, p869-73	吸入麻酔薬. 徹底ガイド 心臓麻酔Q&A. 麻酔科学レク チャー	宮下 龍, 折茂香織, 金谷憲明	麻酔科
臨床麻酔 真興交易株式会社医書出版部, 東京 2009 pp1338-9	質疑応答.ロクロニウム注入時痛の発生要因と対処法に ついて.	宮下 龍, 山蔭道明	麻酔科
緩和医療学10, Vol 11, No4. 先進医学社. 2009 pp105(405)	つぼ圧迫バンドは放射線治療関連悪心を軽減する.	水上奈穂美	麻酔科
治療学 2009; 43 157-62	気道—喫煙の基礎医学	山蔭道明	麻酔科
Anesthesia 21 Century 2009; 11 38-52	Hydroxyethyl starch製剤の現状と今後の展望	山蔭道明	麻酔科
Pharmacesthesiology 2009, 20 22-8	筋弛緩薬の基礎—神経筋接合部に対する非脱分極性 筋弛緩薬の作用—.	成松英智, 新谷知久	麻酔科
日本臨床麻酔学会誌 2009, 29 23-34	神経筋接合部を意識した筋弛緩投与方法とモニタリング— 種々の病態での神経筋接合部の変化と筋弛緩モニタリ ングの留意点—	成松英智, 新谷知久, 並木昭義	麻酔科
日本臨床麻酔学会誌 2009; 29 275-89	新しい局所麻酔薬レボピバカイン概要.	山蔭道明	麻酔科
救急医学2009; 33 1825-8	特集 急性期栄養管理の実際.Ⅱ 急性期栄養管理の施 設独自の工夫.札幌医科大学における急性期栄養管理 の実際.	今泉 均, 巽 博臣, 升田好樹	麻酔科
LiSA 2009, 16 20-3	Restricted fluid therapy: 麻酔中の輸液管理. 徹底分析 「周術期の輸液管理」.	山蔭道明, 田村岳士	麻酔科
LiSA 2009, 16 112-3	小児周術期輸液の考え方の変遷. 徹底分析「輸液管 理: 病態と輸液剤の選択」.	山下 淳, 山蔭道明	麻酔科
LiSA 2009, 16 142-5	肝不全患者の輸液管理. 徹底分析「輸液管理: 病態と輸 液剤の選択」.	澤田敦史, 山蔭道明	麻酔科
LiSA 2009, 16 146-9	消化管大手術の輸液管理. 徹底分析「輸液管理: 病態と 輸液剤の選択」.	高橋和伸, 山蔭道明	麻酔科
呼吸器ケア2009; 夏季増刊 pp82-93	ロールプレイで学ぶ呼吸ケア・呼吸管理のキーポイント (監修 石原英樹)第1章 緊急対応が必要な事態: 8. 胸 痛.	藤 玲子, 今泉 均	麻酔科
EMERGENCY CARE 2009; 22 pp1127-34	救急患者のライフラインを守る! 呼吸管理の知識・技術 A to Z プレホスピタルでの呼吸管理の知識と技術を身 につける!	丹野克俊, 今泉 均	麻酔科

臨床麻酔(臨時増刊号) 2009 33 399-411	9. 目的にかなった手術中の体温測定部位はどこか? 「臨床麻酔誌上セミナー'09」.	及川慶浩, 山蔭道明	麻酔科
癌と化学療法 2009, 36(13)	ビスフォスフォネート関連顎骨壊死に関する臨床検討	出張裕也 ほか	口腔外科
Mol Reprod Dev 2009, 76(4)	The proximal promoter governs germ cell-specific expression of the mouse glutathione transferase mGstm5 gene.	Dehari H, Tchaikovskaya T, et al	口腔外科
Angiogenesis 2009, 12	Sendai viral vector mediated angiopoietin-1 gene transfer for experimental ischemic limb disease.	Huang J, Tomihara K, et al	口腔外科
Oncogene 2009, 28(29)	CHFR, a potential tumor suppressor, downregulates interleukin-8 through the inhibition of NF-kappa B	Kashima L, Ogi K, et al	口腔外科
高次脳機能研究 30(1):53-61, 2010. 3.	錯綜図における形態知覚が保たれた連合型視覚失認の1例	阿部晶子, 石合純夫, 関 啓子, 三輪隆子	リハビリテーション科
Int J Oncol 2009, 34	Interaction between survivin and aurora-B kinase plays an important role in survivin-mediated up-regulation of human telomerase reverse transcriptase expression.	Furuya M	検査部
Breast Cancer Res Treat 2009, 117	Survivin plays as a resistant factor against tamoxifen-induced apoptosis in human breast cancer cells.	Moriai R	検査部
Int J Oncol 2009, 34	Down-regulation of hTERT expression plays an important role in 15-deoxy- $\Delta$ 12,14-prostaglandin J2-induced apoptosis in cancer cells.	Moriai M	検査部
Exp Hematol 2009, 37	Overexpression of serine threonine tyrosine kinase 1/novel oncogene with kinase domain mRNA in patients with acute leukemia.	Kondoh T	検査部
Int J Oncol 2009, 35	Diagnostic importance of overexpression of Bmi-1 mRNA in early breast cancers.	Saeki M	検査部
Oncol Rep 2009, 22	Diagnostic relevance of overexpressed Nanog gene in early lung cancers.	Nirasawa S	検査部
Microbi Drug Resist 2009, 15	Genetic diversity of the low-level vancomycin resistance gene vanC-2/vanC-3 and identification of a novel vanC subtype (vanC-4) in enterococcus	Watanabe S	検査部
Microbi Drug Resist 2009, 15	Genetic diversity of enterococci harboring the high-level gentamicin resistance gene aac(6)-Ie-aph(2)-Ia or aph(2)-Ie in a Japanese hospital.	Watanabe S	検査部
Echocardiography 2009, 26	Quantitative assessment of left ventricular and left atrial functions by strain rate imaging in diabetic patients with and without hypertension.	Muranaka A	検査部
J Echocardiogr 2009, 7	Prognostic implications of left atrial dilation evaluated by echocardiographic volume in patients with normal left atrial antero-posterior dimensions.	Muranaka A	検査部
Echocardiography 2009, 26	Massive cerebral embolism originated from ruptured infective mitral annular calcification in a chronic hemodialysis patient.	Nishida J	検査部
Cancer Biol Ther 2009, 8	Interleukin-2 gene transfer potentiates the alpha-galactosylceramide-stimulated antitumor effect by the induction of TRAIL in NKT and NK cells in mouse	Nishihori Y	検査部
日本臨床検査自動化学会誌 2009, 34	化学発光酵素免疫測定装置「PATHFAST」による「TAT」測定の基本性能に関する検討.	高橋祐輔	検査部
日本臨床検査自動化学会誌 2009, 34	全血試料の使用が可能な酵素法によるHbA1c測定試薬「グリコヘモグロビンA1cキット サンク HbA1c」の基本性能に関する検討.	佐々木美香子	検査部
日本臨床検査自動化学会誌 2009, 34	全自動電気化学発光免疫測定装置に搭載可能な血中ACTH濃度測定試薬「エクルーシス試薬ACTH」の基本性能に関する検討.	湯浅 眸	検査部
日本臨床検査自動化学会誌 2009, 34	血中テオフィリン濃度測定試薬「ナノピアTDMテオフィリン」の日立自動分析装置9000シリーズ搭載時における基本性能の検討.	後藤真希	検査部
超音波検査技術 2009, 34	3次元心エコー法による発作性心房細動例の左房容積計測の有用性.	渋谷俊幸	検査部



日本臨床検査自動化学会会誌 2009, 34	ARCHITECT®アナライザー i2000SRを用いた「アーキテクト®・HIV Ag/Abコンボアッセイ」の基本性能の評価.	村井良精	検査部
日本臨床検査自動化学会会誌 2009, 34	全自動輸血検査装置「ECHO」の基本性能に関する検討.	近藤 崇	検査部
日本臨床検査自動化学会会誌 2009, 34	「OCセンサー-DIANA」を用いた免疫学的便潜血検査における検体処理時間の検討.	大江由衣	検査部
日本臨床検査自動化学会会誌 2009, 34	NT-proBNP測定用試薬「エクルーシスproBNP」の基本性能に関する検討.	梅森祥央	検査部
日本臨床検査自動化学会会誌 2009, 34	ディメンション用NT-proBNP測定試薬「フレックスカートリッジNT-proBNP PBNP」の基本性能に関する検討.	竹内麻衣	検査部
日本臨床検査自動化学会会誌 2009, 34	ラテックス免疫比濁法によるアディポネクチン測定用試薬の性能評価.	梅森祥央	検査部
日本臨床検査自動化学会会誌 2009, 34	$\alpha$ 1マイクログロブリン測定試薬「N-アッセイLA $\alpha$ 1-MGニットーボー」の基本性能に関する検討.	佐々木美香子	検査部
Internal Med 2010,49	Pure red cell aplasia associated with Good' s syndrome accompanied by decreased stem cell factor production in the bone marrow.	Kuribayashi K	検査部
Clin Chim Acta 2010, 411	Prevalence of human anti-mouse antibodies (HAMAs) in routine examinations.	Koshida S	検査部
Clin Lab 2010, 5	Comparison of four direct homogeneous methods for the measurement of low-density lipoprotein cholesterol.	Yamada K	検査部
Jpn J Infect Dis 2010, 63	Evaluation of spa typing for the classification of clinical methicillin-resistant staphylococcus aureus isolates.	Furuya D	検査部
Jpn J Infect Dis 2010, 63	Identification of staphylocoagulase genotypes I-X and discrimination of type IV and V subtypes by multiplex PCR assay for clinical isolates of Staphylococcus	Hirose M	検査部
日本臨床検査自動化学会会誌 2010, 35	「ANAスクリーニングBio-Rad/全自動マイクロプレートEIA分析装置Evolis」の性能評価.	大場 勝	検査部
日本臨床検査自動化学会会誌 2010, 35	「マイクロスキャンNegシリーズNegMIC3.31Eパネル」によるESBL検出能の評価.	品川雅明	検査部
日本臨床検査自動化学会会誌 2010, 35	全自動化学発光免疫測定装置「Cobas e411」による「TRAb」測定の基本性能に関する検討.	高橋祐輔	検査部
日本臨床検査自動化学会会誌 2010, 35	HDLコレステロール測定試薬「メタボリードHDL-C」の性能評価.	大江由衣	検査部
日本臨床検査自動化学会会誌 2010, 35	便潜血自動分析装置「ヘモテクト Ns-Plus C」による便中ヘモグロビンおよびトランスフェリン濃度測定の基礎的検討.	後藤真希	検査部
日本臨床検査自動化学会会誌 2010, 35	「HISCL-2000i」によるHBs抗原およびHCV抗体測定の基本性能に関する検討.	八鍬佑貴	検査部
日本臨床検査自動化学会会誌 2010, 35	血液培養検査における「マイクロスキャンRapid Plus」シリーズの有用性に関する検討.	湯浅 眸	検査部
日本臨床検査自動化学会会誌 2010, 35	全自動輸血検査装置「ECHO」の凝集判定プログラム変更後におけるABO式血液型ウラ試験の評価.	米澤 仁	検査部
J Immunother 2009 Jun; 32(5)	Cep55/c10orf3, a tumor antigen derived from a centrosome residing protein in breast carcinoma.	長谷川 匡	病理部
Cancer Sci 2009 Aug; 100(8)	ovel spliced form of a lens protein as a novel lung cancer antigen, Lengsin splicing variant 4.	長谷川 匡	病理部
Int J Oral Maxillofac Surg 2009 Oct; 38(10)	Carcinoma ex pleomorphic adenoma of the buccal region is composed of salivary duct carcinoma and squamous cell carcinoma components.	長谷川 匡	病理部

J Orthopaedics 2009 Oct; 6(4)	Improvement of severe bone pain and activities of daily living in a patient with tumor-induced osteomalacia following the resection of a FGF23-producing tumor in the oral cavity.	長谷川 匡	病理部
病理と臨床 2009年5月 27巻5号	嚢胞形成を伴う腓腫瘍の鑑別診断(今月の話題)	三橋 智子	病理部
医学のあゆみ 2009年6月 229巻10号	間葉系腫瘍-GISTの分子病理診断(特集 がん分子病理診断の新展開)	長谷川 匡	病理部
北海道整形災害外科学会雑誌 2009年8月 51巻1号	骨軟部腫瘍の分子病理診断(誌上シンポジウム 北海道における骨軟部腫瘍の基礎と臨床)	長谷川 匡	病理部
整形外科 2009年9月 60巻	胞巣状軟部肉腫	長谷川 匡	病理部
日臨細胞北海道会報 2009年9月 18巻	乳腺腺様嚢胞癌(adenoid cystic carcinoma)の1例	東恭悟, 浅沼広子, 近藤啓, 野口寛子, 三橋智子, 長谷川匡	病理部
日臨細胞北海道会報 2009年9月 18巻	北海道での細胞診プレパラートサーベイ「第15回」について	浅沼広子, 東恭悟	病理部
Jpn J Clin Oncol 2010 Jan; 40(1)	Pfetin as a prognostic biomarker in gastrointestinal stromal tumor: novel monoclonal antibody and external validation study in multiple clinical facilities.	長谷川 匡	病理部
Cancer 2010 Jan; 116(2)	Disruption of the blood brain barrier by brain metastases of triple-negative and basal-type breast cancer but not HER2/neu-positive breast cancer.	長谷川 匡	病理部
J Clin Pathol 2010 Feb; 63(2)	Angiomatoid fibrous histiocytoma including cases with pleomorphic features analysed by fluorescence in situ hybridization.	長谷川 匡	病理部
Hum Pathol 2010 Mar; 41(3)	Fluorescence in situ hybridization analysis using EWSR1 and NR4A3 probes in extraskelatal myxoid chondrosarcomas.	野口寛子, 三橋智子, 長谷川匡	病理部
J Surg Oncol 2010 Mar; 101(3)	Immunohistochemical expression of HER1, HER3, and HER4 in HER2-positive breast cancer patients treated with trastuzumab-containing neoadjuvant chemotherapy.	長谷川 匡	病理部
診断病理 2010年1月 27巻1号	偽血管腔構造が特徴的な皮膚髄膜腫	外岡暁子, 計良淑子, 荻野次郎, 長谷川匡	病理部
整形外科 2010年2月 61巻	淡明細胞肉腫	長谷川 匡	病理部

## (様式第 12)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	札幌医科大学附属病院長 塚本 泰司
管理担当者氏名	病院課長 貞村 英之 / 患者サービスセンター長 竹内 正明 / 薬剤部長 宮本 篤 / 医療安全推進部長 山下 敏彦 / 感染制御部長 渡邊 直樹

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		病院課、各診療科、カルテ庫、各記録関係部科	病歴資料については、各診療科毎に作成し、カルテ庫で管理（一診療科一カルテ） エックス線写真については、各診療科とカルテ庫において保管管理
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の提供の実績	各診療科	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	各診療科	
	高度の医療の研修の実績	病院課	
	閲覧実績	—	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事センター	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	病院課及び薬剤部	
第規一則号第一に掲げる十の十一の第一項の各号及び第九の二十三の第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全推進部	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全推進部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全推進部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全推進部	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全推進部	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全推進部	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	患者サービスセンター	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染制御部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	業務課
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	業務課
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	業務課		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	業務課		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	北海道公立大学法人札幌医科大学理事長 島本 和明
閲覧担当者氏名	北海道公立大学法人札幌医科大学事務局病院事務部 患者サービスセンター長 竹内 正明
閲覧の求めに応じる場所	北海道公立大学法人札幌医科大学事務局病院事務部患者サービスセンター

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	75.4%	算定期間	平成21年 4月 1日～平成22年 3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	13,075人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	7,560人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	377人	
	D: 初診の患者の数	20,297人	

- (注) 1. 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
2. A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有
<p>・指針の主な内容：</p> <p>○「札幌医科大学附属病院における安全管理指針」 医療の安全管理に関する基本方針を定めるとともに院内の責任体制を明確にし、医療安全管理の具体的な推進方策について 9 項目を規程している。</p> <p>1 総則 2 医療安全管理のための組織体制 3 医療の安全確保を目的とした改善のための方策 4 安全管理のための職員研修の実施 5 医療事故発生時の対応方法 6 患者相談窓口の設置 7 安全な医療を提供するためのマニュアル・ガイドライン 8 本指針の閲覧 9 附則</p>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況（平成 21 年度）	年 53 回
<p>・活動の主な内容：</p> <p>○医療事故防止対策委員会 (定例) 12 回 医療事故の原因分析・再発防止策等の検討を実施 ○安全対策委員会 (定例) 11 回 インシデントの原因分析・再発防止策の検討、マニュアル等の検討 *各検討結果を現場へフィードバックし、周知徹底を図っている ○医療クオリティ審議委員会 (随時) 6 回 傷害レベル 3 b 以上の緊急または既事案について調査、検討し、事故か否かを判断 ○リスクマネージャー連絡会議 (定例) 4 回 インシデントの周知徹底を図り、注意喚起した (メール配信) 16 回 電子メールによる各リスクマネージャーからの問い合わせ又は意見提起、これに対する回答等、双方向の連絡 ○医療問題調査委員会 (随時) 4 回 医療紛争に関する事項の検討</p>	
① 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況（平成 21 年度）	年 19 回
<p>・研修の主な内容：</p> <p>○全職員を対象とした安全対策研修 年 5 回 ○全職員を対象とした BLS・AED 講習会 年 7 回 ○その他医師、看護師・看護助手を対象とした研修会 年 7 回</p>	
② 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有)</p> <p>○「医療事故発生・発見時の対応について」(平成 14 年 11 月 1 日病院長決定)により事故等の区分を 6 段階にレベル分けし、院内報告の仕方や取り扱いを明らかにするとともに、再発防止策の検討方法を規程している。</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>○医療安全確保のための業務改善計画書に基づく巡回点検の実施 各部署において「業務改善計画書」を作成・提出させ、医療安全推進部長、GRM、医療事故防止対策委員が診療科等を巡回、当該計画書の実施状況を確認の上、状況に応じた指導を行った。</p> <p>○医療安全対策マニュアルポケット版(第 3 版)の発行 全病院職員が携帯している。第 2 版の発行から 2 年近くが経過したために医療事故防止対策委員会及び安全対策委員会において内容の精査・見直しを行い、現状に適合した内容のものに編集し、配付した。</p> <p>○医療安全推進週間の開催 医療安全対策に関し、医療関係者の意識の向上、また、医療機関における組織的取組の促進などを図る目的で開催した。取組内容は、医療安全講演会、各部署等の医療安全の取り組みの発表、医療安全に関わる標語・ポスターの募集を行った。</p>	

⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有（3名）
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（2名）
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有
<ul style="list-style-type: none"> <li>・所属職員： 専任（ 3 ）名 兼任（ 4 ）名</li> <li>・活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>○附属病院における安全対策の総合企画・総合調整</li> <li>○事故発生報告書及びインシデントレポートに基づく事故原因の分析及び再発防止策の検討業務</li> <li>○再発防止策等について診療科・看護室等のリスクマネージャーを通じて現場への指導</li> <li>○再発防止策のマニュアル化及びその周知徹底</li> <li>○安全管理に関する最新情報をリスクマネージャー連絡会議、リスクマネジメントニュースの発行を通じて全職員へ周知徹底</li> </ul> </li> </ul>	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	☑・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 8 回
<p>・ 研修の主な内容： 安全使用のため、特に高度な技術の習得が考えられ次の医療機器の「有効性・安全性に関する事項」、「使用方法に関する事項」、「保守点検に関する事項」、「不具合が生じた場合の対応に関する事項」、「使用に際して、特に法令上遵守すべき事項」について研修を行った。また、新たに導入した医療機器(12機種)について、導入時に研修を行った。</p> <p>人工心肺装置及び補助循環装置、人工呼吸器、血液浄化装置、除細動器、閉鎖式保育器、診療用高エネルギー放射線発生装置、診療用放射線照射装置</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 計画の策定 (☑・無)</p> <p>・ 保守点検の主な内容： 平成19年3月30日付け厚生労働省通達に基づく次の医療機器のほか、高額医療機器及び住宅用に貸し付けている医療機器を保守点検している。</p> <p>人工心肺装置及び補助循環装置、人工呼吸器、血液浄化装置、除細動器、閉鎖式保育器、診療用高エネルギー放射線発生装置、診療用放射線照射装置</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (☑・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容： 医療機器安全管理責任者を設置し、ME機器センターにおいて医療機器の添付文書、取扱説明書などの情報を整理及び管理し、医療機器の不具合情報や安全管理情報等を製造販売業者等から一元的に収集し、得られた情報を担当者に適切に提供する。</p>	



(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年6回
<p>・ 研修の主な内容:</p> <p>○トピックス研修会(全5回) 「最新のインスリンと血糖管理」講師:第二内科講師 「エビデンスに基づいた医薬品の安全管理・危機管理 ver.3」講師:医薬品安全管理責任者、薬剤部長 「ワーファリン・アスピリンの使い方と止め方」講師:第二内科准教授</p> <p>○平成21年度医薬品・医療機器安全管理研修会 「医薬品・医療機器の安全管理-最近の医療安全トピックスを中心に-」 講師:医薬品医療機器総合機構 石井健介</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (有・無)</p> <p>・ 業務の主な内容: ○医薬品の採用・購入、医薬品の管理方法、投薬指示・調剤、患者への与薬や服薬指導、 医薬品の安全使用に係る情報の取扱い(収集・提供)、他施設との連携</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容: ○ハイリスク薬の選定と管理・取扱い:院内周知及び管理状況の確認 ○がん化学療法:プロトコール申請及びレジメン入力の実施、薬剤部でのミキシング</p>	